

地区協・あれこれ



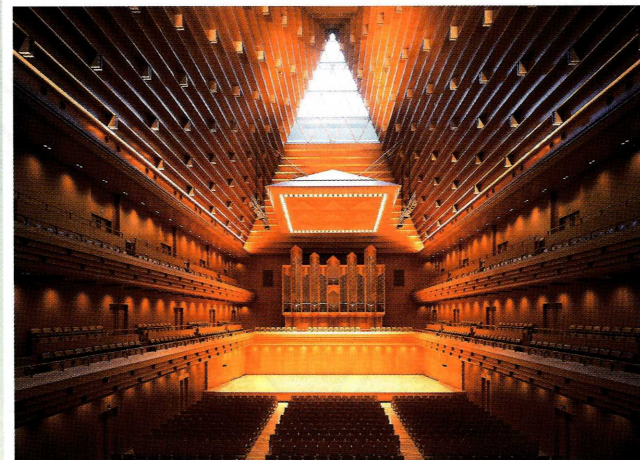
「ヴィジュアルオルガンコンサート & 東京オペラシティ見学会」に参加して

日時：平成30年2月9日（金）11時15分～14時

〔地域交流分科会主催の施設見学会に参加された森様から、感想文をご寄稿いただきました。〕

東京オペラシティコンサートホールは、1997年に小澤征爾さん指揮のオーケストラの演奏「マタイ受難曲」でオープンし、今年20周年を迎えました。こちらのオルガンコンサートは二度目の私ですがパイプオルガンの演奏を初めて聴いた時は感動感激、幸せな気持ちでいっぱいになり帰途についたことを強く覚えております。今回も再び音色のすばらしさ、ホールの音響のすばらしさに感動です。演奏後はバックヤードの見学会にも参加させて頂き普通の人々が絶対に立ち寄る事が出来ないステージの上のパイプオルガンのすぐそばへ、またアーティストロードを通り大小のリサイタルホール、休憩室、控室、演奏者のたくさんのサイン色紙、そして熊野神社の神棚が飾ってあったのにびっくり、感心いたしました。

ホール内1階～3階まで全て桜の木で出来ていて変型ピラミッド型が、右端、左端に寄って上を見ると各々斜めに傾いていて不思議感を味わう事が出来ました。舞台前方はオーケストラの大きさにより奥行を減らしたり増やしたりできることも教えて頂き、びっくり。実際に座席二列分が移動する所を見せて頂き、また、ステージ後方二階席は少ししかないのですが、そこは指揮者の勉強をする人達が買って指揮者の表情表現の仕方を学ぶ所と知り新しい知識を得、私も一度その席に座ってみたいと…。最初に乗った大きなエレベーターは扉の開いているお部屋に見えたこと、でもそれはグランドピアノ等を運ぶエレベーターでした。おどろきです。パイプオルガンの鍵盤は54ストップ、スイス製のパイプは3,600本、長さは8m。20周年を迎えて初めてお掃除をする事、コンサートホールの空調の良さとの事。お掃除はスイスの技術者が来られて中の煤を取るのだそうですごいな～と思いました。何もかも勉強になった見学会でした。



最後に1階のタケミツメモリアルにありました世界的にも有名な武満徹さんのお言葉が強く心に残りましたことを書き、お礼の気持ちとさせて頂きます。

「できれば鯨のように優雅で頑健な肉体をもち海を泳ぎたい。」スバラシイ！拍手です！

森 絹子

ご協賛のお願い

この地域情報紙の発行にあたり、ご支援いただける企業、団体、個人の方を募集しています。ご協力をお願いいたします。

角筈地区協議会地域交流分科会

「わいわい地域交流！」の紙面作りにご意見・ご感想のある方、情報を掲載したい方、紙面作りに参加したい方、大歓迎！
ご連絡をお待ちしております。次回も地域に密着した話題をお届けいたします。次回の発行は2018年9月の予定です。

【連絡先・発行元】

角筈地区協議会「地域交流分科会」事務局（角筈特別出張所内）

TEL：03-3377-4381 FAX：03-5350-2868 E-MAIL：tsunohazu@city.shinjuku.lg.jp

HP：http://www.city.shinjuku.lg.jp/soshiki/262200tsunohazu_01.html

西新宿地域情報紙 わいわい地域交流！第46号 発行日：2018年3月31日



わいわい地域交流！

東京の中心、都庁のとなり、都会のオアシス
私たち地域住民のコミュニケーションをここから発信しよう！！

私たちの住む町会



私たちの住む町会を住民の皆さん方を始め、これから住もうとする方にもっと知ってもらおうという思いから、この特集を組みました。あなたも地域活動に参加しませんか。

西新宿角三町会 ①

八木秀夫町会長にお話を伺いました。

その歴史は古く、今年で91年を迎えます。町会で取り組んでいる行事は年間を通して行われております。春・秋の交通安全の旗振り、夏には盆踊り、秋のお祭り、冬の火の用心・防犯夜回り、と地域に根付いた活動をしております。特にお祭りで使われている大神輿は、大正13年からのもので自慢の一つであるそうです。



総樺造り大神輿

また、平成23年3月11日の東日本大震災以来、新宿中央公園水の広場にて東京新都心ライオンズクラブ共催の防災フェアが行われるようになりました。西新宿小学校、西新宿子ども園、西新宿児童館のみなさんも参加され、震災のあった14時46分に黙祷をしているそうです。その影響もあり、防災意識の高まりとともに町会への参加を申し出てくださる方も増えているとのことでした。

そういった行事に参加することで地域の方たちと顔見知りになっていけることも、いろいろな意味でメリットになっているようです。

なお、西新宿三丁目西地区再開発が2022年着工予定に向けて計画中です。

(写真) 左:八木町会長 右:西新宿三丁目西地区市街地再開発準備組合 藤吉事務局長



西新宿三丁目西地区再開発完成予想図

取材:H.T H.S

淀橋町会 ③

若村雅司町会長に伺いました。

淀橋町会は、平成30年で62周年を迎える町会で、西新宿5丁目を中心に6丁目、4丁目の一部を地域としています。

昨年10月に新しく淀橋会館が竣工され、町会の拠点もその会館内に戻されました。町会には、町会内にお住まいの方に任意で会費を納め入会していただくのですが、主な活動としては地域の防犯や交通安全、コミュニケーション、青少年の育成、行政との連絡や支援事業、また住民参加のイベントなど幅広く、住民の皆様にとってより住みやすい町となることを目指し活動しています。特に淀橋町会においてはイベントに力をいれており、毎年行われている芸団協の芸能花伝舎(旧淀橋第三小学校)でのイベントとして春の「芸術体験ひろば」や秋の「芸協らくごまつり」、淀橋会館での「淀橋落語会」などは、淀橋町会独特のイベントとなっております。その他11月の餅つき大会なども子供達に人気のイベントのひとつです。また、交通安全週間の旗振りや、地域の防災訓練には他町会とともに参加しており、冬には夜警(火の用心)も行っております。これらの活動は年2回の『淀橋町会たより』にてお知らせしております。



若村町会長

今後の希望としては、平成29年秋に竣工した「ザ・パークハウス西新宿タワー60」等の層ビルの住民との交流です。より多くの方に入会し活動に参加していただき、いかに活力のある生きた町会にすべきかを考えております。その一歩として、淀橋町会のホームページを作り、特に若い世代の方々に周知していただくため随時更新も行い努力しております。ぜひ、町会への入会をお待ちしております。

取材:M.M

ザ・パークハウス西新宿タワー60



西新宿四丁目町会 ②

秋田博町会長にお話を伺いました。

当町会も旧十二社町会から始まり、歴史を重ねてまいりました。現在活動されている方も高齢化しております。さらに年々町会に加入される方が減少し、これからお話しする各活動に参加される方が減少し、事業に支障を生ずることもあります。若い皆さんのご協力を特にお願いいたします。

西新宿四丁目町会は旧十二社町会で、熊野神社と密接な関係があります。約620年前、熊野の杜在家鈴木九郎が分塞を勧請して十二社熊野神社が建立されました。十二社とは熊野の本社を十二所権現ということから、また、十二社という数字は「たくさん」という意味で御祭神が三山合わせて大変な数になることから付けられました。昭和45年住居表示変更により西新宿四丁目町会になりました。

町会役員及び自発的協力者の方々は、住民のみなさんが安心して生活できるよう、活動しています。

また、西新宿5丁目の伊藤外科内科医院の伊藤先生のお話では、四丁目町会の方々はほかの町会より、坂道の影響で足腰が丈夫で元気な高齢者が多いとのことでした。

取材:Y.H M.I

町会の行事

新年会の集い
成人の方に記念品贈呈
満77歳の方に記念品贈呈
防犯・防災パトロール
夜警パトロール

町会の目的

町会員相互の親睦と福利増進を図り、併せて町内発展に関する事業
祭礼、慶弔に関する事業
災害時の避難、救護、消防、消火に関する事業
町会と各官庁、公共団体等の連絡協調

町会に入るメリット

いざという時の助け合い
災害時の避難、生活救護
回覧等を使用し、必要事項の伝達

参考:新宿区住民台帳町丁目年齢別人口
(平成30年2月1日現在)

西新宿3丁目	65歳以上	309名
西新宿4丁目	65歳以上	1,257名
西新宿5・6丁目	65歳以上	1,051名

夜警パトロール



(特別出張所で配布しています)